



2つの要素組み合わせ問題

共通テスト

第3問 問5

問5 前の文章から読み取れる事柄あ・いと、日本と東南アジアとの関係の歴史について述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

文章から読み取れる事柄

- あ 1850年の東南アジアの人口密度は、同じ時期の日本と比べて低い。
い 1850年の東南アジアの人口密度は、同じ時期の日本と比べて高い。

日本と東南アジアとの関係の歴史について述べた文

X 第二次世界大戦中にドイツがフランスに侵攻する前に、日本軍がフランス領インドシナ北部に進駐した。

Y 朱印船が東南アジアに來航し、日本町(日本人町)ができた。

- ① あーX
② あーY
③ いーX
④ いーY

河合塾

第2回全統共通テスト模試 世界史B
第2問 問6

生徒A：この時期には、東南アジアに日本人がいたのですか。

先生：はい。当時 エ ので、日本人が東南アジア各地に進出していました。ウ の原因となった反乱の計画は、オランダ側のでっち上げだと考えられています。これでイギリス・オランダの東インド会社の合併計画は決裂し、オランダがモルッカ諸島を支配し、イギリスはインド経営に専念することになるのです。

問6 上の会話文中の空欄 ウ に入れる語う・えと、空欄 エ に入れる文R・Sとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

ウ に入れる語

- う プラッシーの戦い え アンポイナ事件

エ に入れる文

- R 明と鎌倉幕府のあいだで勘合貿易が行われていた
S 江戸幕府が認めた朱印船貿易が行われていた

- ① うーR
② うーS
③ えーR
④ えーS

本試のX・Yの選択肢のうち、正文であるYは、共通テスト模試第2回のR・Sの選択肢のうち、正文であるSと同じである（Sを選択する際のヒントになる部分が、会話文中の「日本人が東南アジア各地に進出」）。朱印船貿易や日本人の東南アジア進出については、世界史Bではあまり扱わない内容なので、この模試を受け、共通テスト直前に復習するなど、この内容を消化していた受験生には有利となる。